

事業名	食品衛生指導監視事業費			調書番号	38
細事業名	食品衛生推進員活動支援事業費	財務コード	087708		
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線)	3457			

I 事業の概要

実施期間	始期 H8 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 食品衛生推進員(食品衛生法第52条に基づく許可を受けた施設で5年以上従事かつ、食品衛生の向上に熱意と見識を有する者)	その対象をどのような状態にして 食品衛生推進員に委嘱し、講習会を通じて資質の向上を図り、地域における食品衛生の向上に関する自主的な活動を推進する。	結果、何に結びつけるのか 食品衛生の向上、食中毒発生防止
	内容 ○食品衛生推進員の委嘱 ○研修会の開催 年1回 ○食品衛生月間(8月)の食中毒予防キャンペーンやイベント等での食品衛生向上のための啓発活動実施		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	研修会の参加者数	目標	43	43	43	43	43	43
		実績(見込)	38	42	46	48	29	33
		達成率	88.4%	97.7%	107.0%	111.6%	67.4%	76.7%
		達成区分	b	b	b	b	c	c
成果指標	研修会理解度	目標			100	100	100	100
		実績(見込)			94	97	97	97
		達成率			94.0%	97.0%	97.0%	97.0%
		達成区分			b	b	b	b
決算(予算)単位:千円		243	157	96	124	165	256	250

III 事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	c	食品衛生推進員の資質向上を目的に、その時の重要な課題や事件に対応した食品衛生講習会を年1回開催している。食品衛生推進員の出席は29名であり、予定したほど活動量がない。
成果指標	b	平成25年度の一次評価において、研修会の成果が分かるよう理解度のアンケート結果を成果指標にするよう改めた。平成28年度の研修内容は食品営業者の身近な問題であるクレーム対応を題材とし、意図した成果をほぼ上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない	
	説明	食品衛生思想の普及啓発活動においては、食品衛生推進員と(一社)山梨県食品衛生協会が組織する食品衛生指導員690名と実際の活動が同じであり、両者の役割の区別は困難であり、食品衛生推進員独自の活動の有効性は低い。	
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()	
その他	説明		
見直しの必要性	有	食品衛生の推進には、営業者の自主衛生管理の普及啓発、とくに、今後はHACCP型自主衛生管理の導入推進を優先し、すでに定着している食品衛生指導員活動の支援に重点を置いた体制へと見直しを検討する必要がある。	

V 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	事業の予算額については、現行どおりとし、営業者の自主衛生管理の普及啓発、とくに、今後はHACCP型自主衛生管理の導入推進を優先し、すでに定着している食品衛生指導員活動の支援に重点を置いた体制へと見直しを検討する。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。